

一般社団法人 日本総合健診医学会

2026年度 社員総会並びに日野原重明賞授与式のご報告

一般社団法人日本総合健診医学会の2026年度定時社員総会は、本学会第54回大会の2日目、2026年1月24日（土）午前8時よりパシフィコ横浜会議センターにおいて開催された。

初めに西崎泰弘理事長より、「第54回大会の大会第1日目を成功裏に終了することができました。『健診、保健指導で救える命』というスローガンのもと組まれたプログラムの中で、改めて健診や保健指導が命を救う重要性を再認識しました。また本大会は事前申し込みから過去最高の参加者数を記録し、当日参加者も増加していると伺っております。高木大会長が神奈川県や横浜の方々にしっかりとアナウンスをされ、協力を仰ぎ、また日頃から信頼関係を築かれていることが今回の参加者の多さに繋がったと考え、改めて感謝と敬意を表します。本日2日目も安全に、また充実した学びの機会となりますよう、皆様ご協力をお願い申し上げます。」との挨拶があった。

続いて高木重人大会長より、西崎理事長からの言葉に感謝を述べた後、「事前参加登録者数が1,949名、昨日の当日登録者数が111名で、すでに合計2,000名以上の参加登録を頂いております。大会長として皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。本日も午前中の学術プログラム、午後には産業医研修会、市民公開講座などが予定されておりますので、引き続き本日も活発なご討議をお願いいたたく存じます。」との挨拶があった。

引き続き、社員総会の議事に入り、西崎理事長が議長を務め、定足数の報告に続いて議事が進められた。

議案は次の通りで、全ての議案が異論なく承認された。

- 1号議案 2025年度 事業報告の件
- 2号議案 2025年度 決算報告の件
- 3号議案 検討会特別会計設置の件

- 4号議案 特別会計記念事業廃止および一般会計への統合の件
- 5号議案 2026年度 事業計画案の件
- 6号議案 2026年度 予算案の件
- 7号議案 審議員選任の件
- 8号議案 監事選任の件
- 9号議案 第56回大会長任命の件

3号議案では昨年開始した検討会事業について、特別会計を設置することが提案され、異議なく承認された。

4号議案では、特別会計「記念事業」が終了したため、残額2,185,679円を一般会計に繰り入れ、特別会計を廃止することが提案され、異議なく承認された。

7号議案で4名の審議員が選任され、8号議案では2名の監事がそれぞれ選任された。

9号議案では、次々期（第56回）大会長に福田洋 理事が選任された。

以上をもって社員総会は終了、閉会した。

続いて、次期大会長 丸山雄一郎 理事より、ご挨拶および大会概要の説明があった。

第55回（2027年）学術大会は、次の要領で開催する。

- ・日程：2027年1月29日（金）・1月30日（土）
- ・会場：軽井沢プリンスホテルウエスト（長野県）
- ・テーマ：「“健・検・探究” その似て非なるもの - AI時代の健診と検診を共に究めよう -」

健康診断と検診の違いを再確認し、AI技術の活用が進む新時代において両者を共に究めることを目的としている。軽井沢プリンスホテルウエストは国内最大級のアウトレットモールにも隣接しており、エクスカッションとしてカーリング体験も計画している。東京から新幹線で60分、極寒ではあるが雪はあまり積もらないため、ぜひとも暖かい服装でご参加くださいと挨拶があった。

次々期大会長 福田 洋 理事からは、第56回（2028年）学術大会について、会期は2028年1月で、日程と開催場所については未定となっている。大会テーマは「ヘルスリテラシーや行動変容と健診」にフォーカスし、健診後の早期介入や行動変容、予防医療、生活習慣に重点を置いた学会を目指したい。併せて多くのコメディカルの皆様にご参加いただけるよう尽力したいとの挨拶があった。

最後に日野原重明賞（健康予防科学賞）授与式が行なわれた。

今年の受賞者は、磯 博康先生（国立健康危機管理研究機構 グローバルヘルス政策研究センターセンター長、理事長特任補佐）となった。

高橋敦彦選考委員長から、この賞の趣旨と目的の説明、および磯先生のご経歴とご専門でのご活躍状況等の選考理由が説明された後、磯先生よりご挨拶のお言葉をいただいた。

以上